西会津中学校　学校だより

雄飛

令和４年８月３１日発行
９月号　Ｎｏ．６
発行者　校長　佐藤　崇史

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主　自律　敬愛　健康

人間はみんな違って、不平等 ～多様な個性を力に変える～

先週から２学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症の第７波により、感染の拡大が続いている中での学校生活のスタートでしたが、西会津中生が元気に明るく登校している姿をうれしく思います。制限の多い生活はまだ続きますが、笑顔で充実した２学期にしてほしいと心から願っています。

２学期の始まりにあたり、生徒たちに「徹底」「優しさ」「自分で考える」というキーワードをもとに、感染対策を含めたやるべきことの徹底、やるべきことを徹底することが人への優しさ、これからの時代には「自分で考える」力が求められることを話しました。

その式辞の後半に「人間は平等か不平等か」と生徒たちに聞きました。元ネタは、経営危機にあった USJ をわずか数年で再建した森岡毅さんの「苦しかったときの話をしようか」（ダイヤモンド社）という本です。

森岡さんは、人間は平等ではないといいます。考えてみれば、確かにみんな違って生まれてきています。外見的違いはわかりやすいです。背の高い人、低い人。太りやすい人、太りにくい人。顔の造りの違いもあります。肌の色も違えば、髪質の違いも大きいです。外見ではわからなくても、運動神経の良い人とそうでない人の差もあります。運動が得意か不得意かは遺伝子で決まるという人もいます。さらには病気になりやすい人となりにくい人とでは、遺伝子に差があるとも言われています。それどころか大きなハンディキャップをもって生まれてくる人もいます。当人の責任とは全く関係なく、人は生まれつき違っているのです。同じでも、平等でもない。みんな違って、不平等に世界はできていると言えるかもしれません。

「知力」の違いも不平等だと森岡さんはいいます。人間の知性をどう測定するべきかという議論はさまざまにありますが、生涯年収などの経済的成功の度合いに最も相関するのが知力の差だというのです。人間の両腕がどれだけ優れても空を飛ぶことはできませんし、脚がどれだけ強くても馬には敵いません。しかし人間が知力を使えば飛行機でも自動車でも創り出せるように、限界知らずの可能性を持っているのが知力です。でも、その知力にも生まれた時から差があるという人もいるのです。

それらの先天的な格差に加えて、さらに後天的な格差がその差を増幅することもあります。親が有名というだけでいきなり芸能界デビューできる人もいれば、親の財産のおかげで裕福に暮らせてしまう子もいます。この世界には不平等で残酷な差がいくらでもあるのです。

そんな不平等について話すと、身も蓋もない話に感じるかもしれません。でも、これはある意味「ワクワクすること」なのだとも思います。なぜなら、不平等ということはみんな違うということ。先天的な特徴、後天的な環境、そのどれもが違うということは、自分の特徴さえ認識できれば、一人一人に特別な可能性があるということ。一人一人が違うから、一人一人が面白いし、一人一人に価値があるということだからです。それぞれの多様な個性を力に変えていけば、自分らしい未来を創ることができるということです。

そう考えると、ワクワクしてきませんか。そもそも私たちは、生まれた瞬間から、世界の誰とも違う、他の誰でもない「私」という人間だったのです。これは実に素晴らしいことです。それに気づけば、人と比べる必要なんてありません。ましてや凹んでいる暇などありません。私たちのやるべきことは、ざっくり言うと、自分の持って生まれたものを最大限に活かすことだけであるといえるかもしれません。私たちは、他の誰でもない。立派な「私」になればいいのです。生徒たちには、それぞれの多様な個性を力に変えて、自分らしさを大切に、様々なことに挑戦していってほしと思います。

自分のことを、この世の誰とも比べてはいけない。それは自分自身を侮辱する行為だ。（ビル・ゲイツ）

相手に伝わってこその表現 ～特設合唱部、2つのコンクールに出場～

８月２３日に、耶麻・両沼小中学校合同音楽祭が行われ、本校特設合唱部が優良賞を受賞しました。なかなか人がそろわず、思うように練習が進まないことが続きましたが、当日は素晴らしい合唱を披露しました。人の心を動かす素敵な歌でした。歌は相手に伝わってこその歌、評価は聞いている人がするんだと合唱部に話してから、日々歌声が変化してきました。２７日には福島県合唱コンクールにも出場し、奨励賞を受賞しました。２３日からさらに進化した合唱を披露しました。持っている力をしっかりと発揮する、さすが西中生です。

駅伝・英語弁論も頑張りました　～継続して自分の力を伸ばす～

耶麻支部英語弁論大会、全会津中体連駅伝大会に向けて、出場する生徒たちは夏休み中も毎日練習に励んできました。努力を継続してきたことで、タイムが伸び、弁論もどんどん上手になってきています。やはり「継続は力なり」です。続けていくことで、力がつくことを生徒たちは実感しています。続けていくことで、自己ベストを更新できるのです。運動でも、勉強でも、努力を続けることで自分の力を伸ばすことができます。大切なのは、他との比較ではなく、自分の力を伸ばすことです。それぞれの大会でベストを出せることを期待しています。頑張れ、西中生！（大会の結果は次号でお知らせします）

英語教育・異国文化体験　～ブリティッシュヒルズでの貴重な体験～

西会津町教育委員会の英語教育・異国文化体験事業が８月４、５日の２日間、天栄村のブリティッシュヒルズで実施され、西会津中生１９名が参加しました。戸田市中学生との交流を図りながら、国際社会に対応するコミュニケーション能力と豊かな人間性を育むことを目的に行われたものです。戸田市の中学生と一緒に英語でのコミュニケーションを中心とした学習に取り組み、全て英語での活動を通して、たくさんの刺激と学びを得ることができた２日間になりました。まるで英国そのもののような雰囲気のブリティッシュヒルズでの２日間は生徒たちにとって、夏の貴重な体験となりました。

２年アントレプレナーシップ学習　～アイディアを発表の形に～

３年生はアントレプレナーシップ学習で、アイディアを実現するためにこれまで様々に活動していました。そんな３年生の姿を目指して、２年生は自分たちのアイディアを形にして発表するために準備をしています。夏休み中も、地域の様々な方々にご協力いただきながら、西会津のワクワクする未来をつくるアイディアを発表できる形にするために活動してきました。インタビューをしたり、実際に体験をしたりして、未来の西会津を考えています。どんな未来を考え、どんな発表になるのか。楽しみです。

９月の予定

- ９月１日（木）全会津中体連駅伝大会
- ２日（金）避難訓練
- ５日（月）光桐祭に向けた全校集会
- ７日（水）ビブリオバトル全校大会
- １２日（月）３年プール授業
- １４日（水）～１６日（金）３年修学旅行
- １４日（水）２年研修旅行・１年職場見学
- １９日（月）敬老の日
- ２３日（金）秋分の日
- ２７日（火）第３回パワーアップテスト（3年）
- ２９日（木）生徒会立ち会い演説会・選挙

新型コロナウイルス感染症対策の徹底を

２学期のスタートにあたり、保健だよりでもお願いしていますが、次のことに気をつけてご家庭でも生活するようお願いします。

● 健康観察（検温等）を徹底し、体調が悪いときは無理をせず自宅療養し、医療機関の受診等をする。

(1)発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、自宅での休養を徹底すること。

● 基本的な感染症対策を徹底する。

(1)十分な換気ができているか把握し、効果的な換気に努めること。

(2)熱中症対策を講じた上で、場面に応じたマスクの着用をすること。

(3)こまめな手洗い及び手指の消毒を徹底すること。

(4)食事前後の手洗いの徹底、食事後の歓談時におけるマスクの着用などの対応をとること。また、飲食の場面においても十分な換気を行うこと。

(5)健康的な生活(十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事)により抵抗力を高めるようにすること。